

## 2. 軀体劣化の状態

躯体の劣化調査は、外壁コンクリートの傷み現象の有無・状態・程度を【躯体の劣化度判定基準表】により調べました。  
主な劣化現象は、コンクリートのひび割れ、鉄筋の発錆・曝裂、コンクリート・モルタルの欠損です。  
調査の結果は【躯体劣化調査一覧表】に示します。

※但し、バルコニーに関しては立入調査が実施できません  
でしたので、報告内容には記載しませんでした。

### 躯体劣化度判定基準表

現象	劣化度	劣化内容
ひび割れ	<b>A</b>	部分的に発生している。
	<b>B</b>	多数発生している。
	<b>C</b>	多数発生している。
鉄筋発錆・曝裂	<b>A</b>	発生していない。
	<b>B</b>	部分的に発生している。
	<b>C</b>	多数発生している。
欠損	<b>A</b>	発生していない。
	<b>B</b>	部分的に発生している。
	<b>C</b>	多数発生している。

### 躯体劣化調査一覧表

部位	項目	ひび割れ	鉄筋 発錆・曝裂	欠損	浮き	特記事項
ペントハウス パラペット	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>B</b>		部分的にクラックの発生あり。
外壁塗装面	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>		部分的にクラックの発生あり。
外壁タイル面	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>C</b>	<b>B</b>		部分的に浮部分が認められる。
共用廊下壁	<b>C</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>A</b>		クラックの発生が多数あり
共用廊下天井	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>		部分的にクラックの発生あり。
階段壁面	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>		部分的にクラックの発生あり。
階段段裏	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>B</b>		部分的にクラックの発生あり。
外講壇	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>B</b>		クラックの発生と塗膜剥離。